議会だより

中土佐町

No.53
令和元年５月25日発行

３月定例会

■議員出張懇談会を開催 …… 2
■長野県で研修 …… 4
■慎重な行財政運営を求める決議を可決 …… 8

串焼き「ポン吉」を営む工藤圭司さん（P28参照）

今回の主な内容

●議員出張懇談会を開催 …… 2
●長野県で研修 …… 4
●平成31年３月定例会
　議案審議 …… 6
　一般質問 …… 11
　委員会活動報告 …… 20
　行政報告 …… 21
　主な議案と議員の賛否 …… 22
●議員の活動状況 …… 24
●追跡・声 …… 27
●地域で頑張る移住者たち …… 28

懇談会

民生委員児童委員連絡協議会

議員が町民の皆さんのところへ出向く議員出張懇談会が、議員改選後初めて行われました。

1月15日は民生委員児童委員の皆さん、2月18日には大野見北地区振興会の皆さんと意見交換を行いました。

この中で、議会や町行政への貴重なご意見をお伺いすることができました。

大野見北地区振興会

議員出張

巨大なわら馬が出迎え

役場移転で

★今の地域課・農林課・教育委員会は大野見庁舎に残してもらいたい！
★久礼（現庁舎付近）に窓口を残すのは屋上屋を重ねること！
★上ノ加江と大野見は距離が違う！
★機構は町長の専決事項かもしれないが、合併協議で決まっている！
★地域課の防災面などの強化を！
★住民自治組織をつくる専門の課がいるのでは！

大股高樋沈下橋へのトイレ設置で

★トイレだけか。水道がない。下ル川も！
★振興会が立ち上がったときからの課題。10年たった。迅速にできないのか！
★水道ができると返事が欲しい！
★地元のためだけではない。外部のお客さんのため。町の面目にかかわる！

防災対策で

★中土佐地区の弱者を大野見へ。大野見へ上がるという空気をつくれば。空き家を活用できる。役場だけ上がっても！
★黒潮町では小学生が危険箇所マップを作り、勉強もしている。子どもがやれれば大人もやる！

北地区の女性が野菜などを出している。四万十元気村のものを買ってほしい！

北酒場などにも来てほしい！

大野見でコピーができるところがなくなった。役場はコピー代が高い！

県道で

★寺野の橋から県道(大股方向)まで1.5車線化できないか！
★寺野から県道(神母野方向)に向かって下がっている。かさ上げして水平にし、1.5車線化できないか！

財政は健全か。若い人に負担を残さないように！

中山間地域の振興で

★北地区は４月から20人減って302人になった。超高齢化している！
★中山間を考えないと集落がなくなる。施策をやらないことには！
★国を挙げて考えないと。しっかりしたものをもって国県へ！
★国は第１次産業を軽視している！
★住民自治組織を他の地区にもつくらないと。つくることで意識が上がる！
★伝統を守らないと。地域を守らないと。
★小さなお金を稼げる仕組みづくりを！
★呼ぶだけでなく、周りが寄ってくるようなものを！

林道を造っていたがやめた。町有林の間伐のためだけだったのか。延伸を！

議員出張懇談会では、改めて本町の厳しい現実を再認識させられました。

議会といたしましても、お伺いしたご意見、ご要望等を検証し、執行部への提案につなげていきたいと考えています。

で研修

南箕輪村の３町村を訪問し、研修を行いました。

１日目に研修を行った飯綱町役場

飯綱町役場の議場で「議会改革」の研修をする議員

～町長と切磋琢磨する議会へ～　飯綱町

飯綱町は、飯綱山の麓にある人口約１万１千人の町です。

飯綱町議会は、第３セクターが経営破綻し、町が約８億円を支払うことになったことから、議会がチェック機能を果たしているのか、町民から説明責任を問われることになりました。

このことを契機に、議会は町民が求める議会像を集約し、町民に信頼される議会を目指し、議会改革を宣言しました。町民に対しての議決・説明責任、議会への住民参加、情報公開、そして、執行部への政策提言などに取り組み、町長との「善政競争」を進めています。

本町議会も議会改革には取り組んでいますが、研修の中で、議会改革の「目的が何なのか」「誰のためなのか」を再確認することができました。そして、議会改革が議員の自己満足であってはならないと改めて認識させられました。

住民の声を反映し、町長と切磋琢磨する議会を目指したい。

下元道夫

議員定数や報酬等改めて考える時期に来たのでないか。

本井康介

議会改革前に議員の意識改革。町づくり仕掛人が必要。最後は町長の人望。

松下裕之

～地元産品を商品化～　南箕輪村

南箕輪村は、中央アルプスと南アルプスを望む、田園が広がる人口約１万５千人の村です。

この地方は、古くから製造業が盛んで、地勢に恵まれていた同村に企業が立地したことから、平成の時代だけでも５千人もの人口が増加しています。

農業は、特産品は特にありませんが、長野県の特産品はなんでも栽培できるという恵まれた土地柄です。その産物を商品化するご当地メニューコンテストを実施しており、地域おこし協力隊が起業した同村の「道の駅大芝高原」のレストランの「ガレット」が人気となっています。

特産品の少ない「道の駅なかとさ」での商品開発のヒントを与えてもらいました。

３町村での有意義な研修を、今後参考にして議会で取り組んでいく。

岡伊三男

先進的な取り組みをしている飯綱町を参考に議会改革に努めたい。

黒原昭一

研修地、古里想うは皆同じ。活性化を目指すは熱意と知恵と人の心。

山下世仁子

長野県

４月９日から３日間、長野県飯綱町・小川村・

80歳を超えた従業員の方が「おやき」を焼く過程を視察する議員

今では長野県の特産品となった「おやき」

～60歳入社、定年なし～　小川村

小川村は、「にほんの里100選」に選ばれ、「美しい日本の村」連合にも加入する人口約2500人の村です。

村にある「株式会社小川の庄（おやき村）」は、地元に伝わる伝統食文化の中で培ってきたお年寄りの知恵や技術を生かし、農産物の加工・販売に取り組んでいます。また「60歳入社、定年なし」といった方針で、高齢者雇用による地域活性化にも寄与し、主力製品の「おやき」をはじめ、商品の販売額は８億円に上っています。

「おやき」は長野県でも一部地方の食文化であったものが営業努力によって、現在は知名度が上昇し全国に販売されています。本町には「なんにもない」と思っていても、営業努力によって、可能性を見いだせるのではないかと感じました。

「小川の庄」から望む山々の間にたたずむ小川村の民家

やる気のあるところは元気が漲（みなぎ）る。議会と長の善政競争に感銘です。

佐竹敏彦

飯綱町の議会力を向上させ、町長と善政競争する議会が参考になった。

福永守恭

信濃の自然を有効利用する自治体に脱帽した研修でした。

高橋雄造

視察で得たことを実践。「お年寄りの元気が地域の元気」を合言葉に。

中城重則

地元の若奥さんなどの就労の場ともなっている道の駅のレストランの厨房と南箕輪村議会からも食べることを勧められた地元の食材をつかったガレット（右上）

既存の建物にトイレを新設して道の駅に登録した「道の駅大芝高原」

一般会計予算過去最高に

新庁舎ほか教育施設のICT化など

平成31年　中土佐町議会

3月定例会

議案審議

平成31年3月定例会が、3月5日から14日までの10日間の日程で行われました。

開会日の5日には、町長の行政報告、議案の提案理由説明、委員会の活動報告などが行われました。

11日と12日は一般質問（P11から関連記事）が行われ、8人の議員が町の課題を執行部に問いました。

14日には議案の審議が行われ、町長提出の1件の専決処分を承認、議案26件を可決、1件を否決しました。また「慎重な行財政運営を求める決議」を可決し閉会しました。

一般会計予算

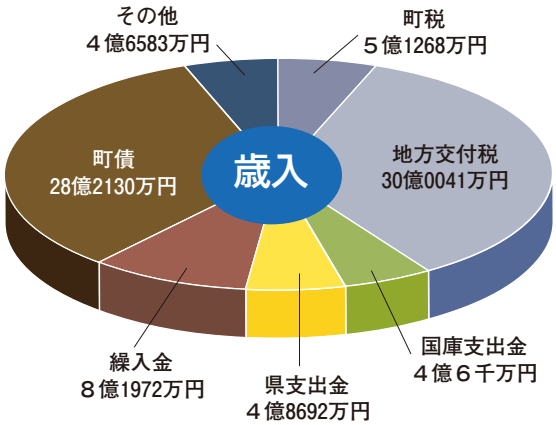
「平成31年度中土佐町一般会計予算について」は、予算額85億6686万円と過去最大となった。前年に引き続き新庁舎の建設費が計上されたほかにも消防庁舎建設費10億5400万円、定住団地宅地造成工事費7500万円、市町村情報基盤整備（ICT化）事業費5529万円などの新規事業が計上されたためだ。

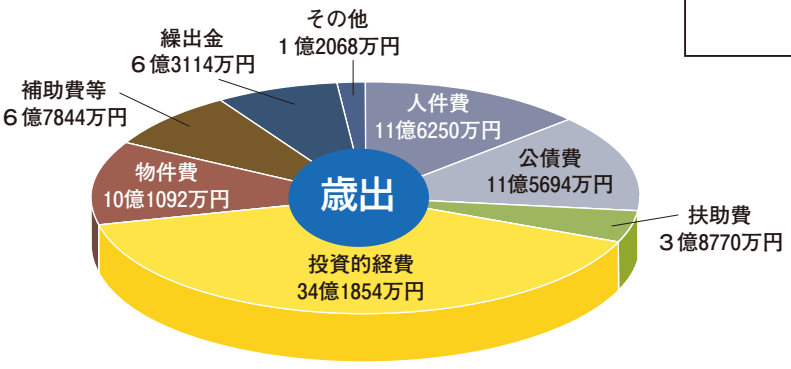
質疑では、計画段階で6億5千万円程度と説明されていた消防庁舎建設費が10億円を超えた理由など、計上された予算に対し、執行部に説明を求めた。

討論はなく、採決の結果、賛成10、反対1で可決された。

ICT　情報・通信に関する技術の総称。

一般会計予算の状況





各会計の予算の状況

一般会計		85億6686万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計		238万円
国民健康保険特別会計		11億1788万円
農業集落排水事業特別会計		3837万円
介護保険特別会計		13億9532万円
後期高齢者医療特別会計		1億2724万円
簡易水道事業会計	水道事業収益	1億4670万円
	〃　費用	1億3856万円
	資本的収入	1億5385万円
	〃　支出	2億0207万円

扶助費　児童手当など児童・高齢者・障がい者などを支援する経費。

物件費　物品の購入、旅費など消費的経費の総称。臨時職員の賃金なども含まれる。

補助費等　一般的な補助金も含め、講師謝金・保険料など、行政上の目的により支出される経費。

３月定例会での一般質問

大野見でのミニトマトの収穫と久礼漁協へ水揚げされたカツオ

工事が進む新庁舎建設予定地

昨年度から引き続き工事が進められている町道
善賢寺線改良工事（上ノ加江）

中土佐庁舎内にある防災行政無線の
放送室

空き店舗を活用して開業した「かつお
漁師丼とみぃの台所」

高台に移転し、津波の心配がなくなった
上ノ加江保育所

大野見中学校のパソコン室

あったかふれあいセンター「ほのぼの大野見」に集う町民の皆さん
（大野見保健福祉センター）

慎重な行財政運営を求める決議を可決

慎重な行財政運営を求める決議

「慎重な行財政運営を求める決議（案）」は、山本建生議員が、9人の議員の賛成者を得て提出した。

この決議案は、今定例会に提出された一般会計予算に計上された「消防庁舎建設工事」が6億5千万円（計画時に説明）から10億円を超える金額となったほか、これまでも再三、補正が繰り返され、当初の予算から増額されたものもあることから提出されたものだ。

佐竹敏彦議員が反対、下元道夫議員、本井康介議員が賛成討論を行った後、採決が行われ、賛成10、反対1で可決された。

提案理由

大きな変更は議会と協議を

山本建生

消防庁舎建設に反対する議員はいないと思う。ただ工事費は、当初の計画では6億5千万円程度と説明していたが、10億5400万円が予算計上された。過去の事業でも再三補正が繰り返され、大幅に増額されたものもある。

事前に議会との協議があってもいいのではないか。執行部と議会は、あるときには緊張関係を持って、あるときには協力しながら進めていく両輪だ。

慎重に行財政運営に当たるよう求めるとともに、事業の途中で大きな変更等が見込まれる場合には、事前に議会と協議することも求めるものだ。

反対討論

原因究明のための特別委員会を

佐竹敏彦

予算編成権は町長の専属の権限だ。決議案は、権限に抵触をする逸脱行為とも受けとめかねない。予算編成は町長が行い、議会はそれに基づいて審議していくところだ。議会が予算の審議をし、問題点を詰めていくというところが前提にある。審議の中で質疑をし、問題点を洗い出し解決策を探っていくのが議会の本来の筋ではないか。

議員必携を読み直した。議員の心構えに「批判するには代案をもってせよ」とある。

決議案よりも問題点・原因を究明し、その対応策を検討する特別委員会を設置するよう求めたい。

賛成討論

行財政運営に緊張感を

下元道夫

執行機関の長と議会の議員はそれぞれ住民が直接選挙によって選出する二元代表制だ。独立、対等の関係に立ち、互いに緊張関係を保ちながら自治体運営に当たる責任を有している。議員は、執行部の出してきた政策や事業をチェック、提言しなくてはならない。このためには一定の時間が必要だ。

消防庁舎建設の件は、3月定例会当日、議会に説明された。建設費の大幅増が判明したのは、昨年12月との説明であった。1月早々にも議会への報告・協議があってしかるべきである。

執行部は今後、事業実施に伴う行財政運営に当たっては、緊張感を持って臨むべきである。

限られた時間ではなく、もっと議論を

本井康介

住民は、この事業の経過をよく知っているからこそ、余計に事業費に関して心配になる。過去の事業でも再三補正が繰り返された。

町長、または副町長は、全員協議会等に出席し、自分の思いや必要性を議員の前でも言ってもらいたい。

議場の場で、限られた時間だけで議論するのではなく、もっと議論をすべきだ。

平成30年度に議会で指摘した主な事業費の増額

事　業　名	最初に示された予算	増　加　額	最終の予算	備　　考
上ノ加江公民館既存建物撤去工事（隣接家屋撤去を除く）	1078万円	129万円	1207万円	計画時に把握していなければならない敷地内の防火水槽撤去・アスベスト処理費の追加
移住体験住宅整備工事	1800万円	617万円（訂正申請があり削除）	2417万円（最終的に全額減額）	旧風工房を改装し２戸の住宅を整備する予定が617万円を補正しながら１戸となるもの（議会の指摘により予算を訂正し削除）
消防庁舎建設工事	６億５千万円（計画時）	４億400万円	10億5400万円（３月定例会時）	計画時に６億５千万円と説明されていたが、設計段階で10億5400万円となったもの

提出議案2件を訂正

事件の訂正

３月定例会に提出された議案２件が訂正された。いずれも議会からの指摘で執行部が訂正したものだ。

訂正された議案のうち「新『中土佐町』建設計画の変更について」は、庁舎移転に伴う機構改革によって、大野見庁舎の機能が低下するともとれる変更だった。議会に対し、議員出張懇談会（P３参照）でも大野見庁舎の機能が低下しないよう大野見北地区振興会から要望されていた。執行部も表現が誤解を招くと判断し、「公共施設の適正配置と整備」の変更部分を削除した。

「平成31年度農業集落排水事業特別会計予算について」は、事務的なミス。

慎重な行財政運営を求める決議

平成31年度一般会計予算において、消防庁舎建設工事10億5400万円が計上された。当初の計画では６億５千万円程度と説明しており、大幅な増額となっている。過去の事業でも、再三、補正が繰り返され、当初の予算から大幅に増額されたものもある。貴重な町民の「お金」を預かっているという意識をもって、慎重に行財政運営にあたるよう求める。

また、事業の途中で大きな変更等が見込まれる場合には、議会は町民への説明責任もあるので、事前に議会と協議することも求める。

平成31年３月14日　　中土佐町議会

訂正前の新「中土佐町」建設計画の変更案

ページ	項目名	変　更　後（新）（提出されていた変更案）	変　更　前（旧）（元どおりとなった記載内容）
P45	第７章　新町における行政の果たす役割	３　公共施設の適正配置と整備 ２つの庁舎の機能については、一定の行政サービスの提供を維持しながら、組織機構のスリム化を図っていきます。	３　公共施設の適正配置と整備 ２つの庁舎の機能については、それぞれに一定の組織を配置して、行政サービスを提供していき、住民が不便や不安を感じることのないよう配慮しながら、組織機構のスリム化を図っていきます。

合併時に作成された「新『中土佐町』建設計画」とその概要版

笹場小学校が廃校
146年の歴史に幕

小学校・中学校設置条例等改正

「中土佐町立小学校及び中学校設置条例等の一部を改正する条例について」は、笹場小学校の廃校と廃校に伴う関連条例を改正するものだ。

学校の廃校は、条例により出席議員の3分の2以上の賛成が必要なため、特別多数議決による採決が行われ、全会一致で可決された。

この議決より、笹場小学校は明治6年の開校（上ノ加江町誌によれば開校明治8年、3年後校舎改めとある）から146年の歴史に幕を閉じることになった。

146年の歴史に幕を閉じた笹場小学校

美術館長報酬上げを否決
公民館長・教育相談員との差異で質疑

質疑では、下元議員が美術館長・教育相談員・公民館長の勤務時間等、また、報酬額の参考とした近隣の美術館の報酬額を問うた。

討論はなく、採決の結果、賛成5、反対6で否決された。

美術館長・教育相談員・公民館長報酬額

	報　酬　額	町職員と同じ時間・日数で勤務したと仮定した報酬額
美術館長	月額100,000円 ↓ 150,000円	月額363,200円（注）
教育相談員	月額115,000円	月額191,600円（注）
公民館長	月額120,000円	月額200,000円（注）

（注）1日7時間45分、週5日として計算。100円未満は切り捨て（美術館長は条例可決の場合）

下元議員の質疑と教育次長の答弁

質　疑		答　弁
週の勤務日数は？		
	美術館長	4日
	教育相談員	3日
	公民館長	3日
	近隣の美術館	—
1日の勤務時間は？		
	美術館長	4時間程度
	教育相談員	7時間45分
	公民館長	7時間45分
	近隣の美術館	7時間45分もあれば、そうでない施設も

館長の報酬額の増額が否決された町立美術館

非常勤特別職の報酬・費用弁償条例改正

「中土佐町非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について」は、美術館長の報酬を「月10万円」から「月15万円」に引き上げるものだ。

一般質問
～町政を問う～

３月11日／12日の２日間、一般質問が行われ、８人の議員が児童虐待、防災対策、美術館移転など町の諸問題を取り上げました。

山本　建生 ……P12
- ■随意契約の見積もり依頼は業者間均等に
- ■町職員は町内居住を

下元　道夫 ……P13
- ■避難者の収容は
- ■水産加工場の在り方は

窪田　和教 ……P14
- ■大野グラウンドに防災機能を持たせ
- ■美術館移転の議論はオープンに

松下　裕之 ……P15
- ■かつお祭は今年で区切りを
- ■常会再編の考えは

本井　康介 ……P16
- ■七面鳥を全国に
- ■児童虐待防止対策は

黒原　昭一 ……P17
- ■水道民営化の影響は
- ■本町への移住者は

高橋　雄造 ……P18
- ■防災対策の進ちょくは
- ■児童虐待で学校へは

佐竹　敏彦 ……P19
- ■天皇制度を教育で
- ■中山間地域の振興を

※一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長などに対し疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

随意契約の見積もり依頼は 業者間均等に

2～3社から見積もり

問 町発注工事で、本来なら入札参加資格があるのに参加基準を上げたため参加できなかったと聞いた。入札参加の選定はどのようにしているか。

三本副町長 事業内容・専門的工種などを担当課と協議し、入札契約制度に関する基本方針に沿ってやっている。

問 本来なら入札に参加できるのに基準を上げて町内業者が参加できなかった例はないか。

三本副町長 まずないと思う。点数と格付け表に基づき指名する。技術・資金面で厳しい面などもあるためだ。

問 地元の建材店が5月で廃業する。利用している大工の方々も仕事がないということだった。町が発注する工事で地元雇用にどう配慮し取り組んでいるか。

町内の小規模工事

三本副町長 地元への優先発注を常に話している。

問 随意契約の場合、業者間で受注機会が均等になるよう、どう配慮しているか。

三本副町長 随意契約は決済が私どものところに回らないので分からない。少なくとも2社、あるいは3社以上から見積もりを取っている。

問 業者が見積もりし、それを基に役場が設計書を作る。見積もりした業者も入札に参加することは多いか。

三本副町長 あまりないがまれにある。

> **随意契約**
> 競争入札によらず、任意で決定した相手と契約を締結すること。

町職員は町内居住を

住めるよう勧誘する

問 通勤手当の財源は。

平田総務課長 一般財源だ。ただし普通交付税の一部に含まれているということもできる。

> **一般財源**
> 地方自治体が自らの裁量で、自由に使い道を決定できる財源。

> **普通交付税**
> 地方交付税の一つ。地方公共団体が、行うべき事務を、日本全国同じように行うことができるよう国から交付されるお金。

問 池田町政になってからの新採職員で現在でも町外からの通勤者が15人いるということだ。地元に住んでくれという取り組みをしたか。

三本副町長 募集時、町内に住めるかどうか聞く。しかし、「必ず住め」とは言っていない。

これからも職員が町内に住めるよう勧誘、努力していきたい。

問 平成30年度本町の普通交付税は27億円余りだ。6800人の人口で割ると、一人当たり39万円の交付税になるという理解でいいか。（通勤者15人×39万円＝585万円）

平田総務課長 単純に町民一人当たりでの計算は難しい。いろいろなことから算出する。

町職員の出勤の様子

下元道夫

避難者の収容は

200人分不足

問 避難する場合、避難道路が確保できるかどうか。

平田総務課長 避難行動で今一番考えなければならないことは、いち早く避難を開始する意識を持ってもらうことだ。

　避難道路の大きな課題は、住宅やブロック塀が崩壊し、道をふさぐ恐れがあることだ。耐震対策を根気強く進めていきたい。

問 地区別避難者数と避難所の設置場所は。また、その収容人数は。

平田総務課長 避難者数は、久礼地区2160人、上ノ加江地区1030人、矢井賀地区262人、大野見地区141人で合計3593人となっている。

　避難所の設置場所は、浸水想定範囲外で、収容人数約3300人弱と想定している。

問 避難者に対し、収容人数は3269人と足らない。

　避難所の耐震化はどうなっているか。

平田総務課長 200人以上の収容人数が現在足りてない状況にある。

　避難場所の耐震化は、現在のところ全てで、できているわけではない。順次事業をやっていく。

避難収容施設の久礼中学校体育館（上）と校内にある標高表示（下）

問 夜間の避難訓練と避難所での生活訓練が必要では。

平田総務課長 夜間訓練は必要と考えている。避難所の生活訓練は、避難所運営マニュアルを順次作成している。（昨年）6月に上ノ加江で宿泊訓練を行った。

水産加工場の在り方は

考え方に変更なし

問 水産加工場の一般公募の結果は。

竹邑水産商工課長 選考の結果、「企画・ど久礼もん企業組合」が使用者として選ばれた。

問 これまで取り組んできたスラリーアイスを活用した高鮮度・高価格の方針に変更はないか。

　水産加工場は、漁業振興の拠点施設であるという考えに変更はないか。

竹邑水産商工課長 鰹乃國水産がこれまで取り組んできた基本方針に変更はない。

　また、執行部がこれまで一貫して答弁してきたことにも変更はない。

使用者が決定した水産加工場

4月5日のカツオの「セリ」

「ハサップ」が義務化

問 食品衛生法が公布され、食品衛生管理システム「ハサップ」が義務づけられる。施行時期、実施に向け町の考え方は。

竹邑水産商工課長 平成30年6月から3年程度準備期間が設けられる。

　各課連携し、町の方々が困らないよう支援に取り組む。

ハサップ（HACCP）
　食材がどのように保存され、提供されたかの記録を残し、透明化する衛生管理方法。

大野グラウンド
防災機能を持たせ
がれき撤去等の役割

問 町長は12月議会で再整備する大野グラウンドに防災機能を持たせないと言った。グラウンドや付帯施設だけで6億7千万円になる。これにいくら上積みされるか未定だ。これだけ経費を使って地震へ備えがない施設を造ることが妥当か。

池田町長 （想定）浸水区域外に造るとなると大野は選択肢に入らない。がれき撤去する中で、一定の被災された方の支援はできる。

大野グラウンドで練習する少年サッカーチーム「中土佐ボンバーズ」

問 大野グラウンド再整備の出発点は久礼中のクラブ活動に支障が出るということだ。中学校のグラウンドと現在の大野グラウンドを使っても危険があるか。

岡村教育長 注意を払って安全に使っている。必要な広さのグラウンドが欲しいのが現状だ。

問 確かに久礼中のグラウンドでサッカーと野球を同時にするには狭い。計画にあるプロ野球並みの球場が中学校のクラブ活動に必要か。また、将来の利用計画は。

岡村教育長 生徒数も減少しており、今後の利用計画では厳しいことはある。

美術館移転
移転議論はオープンに
幅広い意見をいただく

問 美術館移転に向けた検討委員会をつくり議論が始まる。予算が16万円と少ない。深い論議ができるか。

今橋教育次長 専門的分野というところまでの深まりは難しいと考えている。

問 四万十町は美術館と図書館の移転に向けた検討委員会をつくり、実質5年かけて準備をしている。中高生にも聞き取り調査をしている。議論はオープンにして、「知らないうちに文化施設ができた」ということがないように情報公開を徹底している。
本町はどうか。

岡村教育長 中高生が参加した住民参加型のワークショップは学ぶ点が多い。知らないうちに美術館ができたということがないように留意する。

池田町長 どこにどのような形でもっていくか、幅広いご意見をいただく必要がある。

美術館前にある貴重な美術品を保管している収蔵庫

その他の質問
▼山間部の環境改善を

かつお祭 今年で区切りを

現在のままでは厳しい

問 会場設営時の交通規制をどうするのか。
ボランティアの数が少なくなっている感じがする。数は把握しているか。
土佐沖での一本釣りのカツオが、当日絶対にあると言い切れるか。

竹邑水産商工課長（会場設営は）須崎署と協議を十分に進めながら準備を整えたい。
ボランティアは、およそ４００人に参加してもらっている。役場職員も入っている。
（カツオは）漁師さんにご尽力を頂き頑張ってもらっている。釣ってきてもらえると信じている。

問 今のやり方では限界だと思う。５月第３日曜日を「かつおの日」とし、久礼の町中や「道の駅」を使ってのイベントにしてはどうか。（今のままの）かつお祭は30回でやめたらどうか。

竹邑水産商工課長 カツオを取り巻く状況や社会情勢も大きく変化した。主要なメンバーも30年の年を重ねた。同様の活動は年々厳しくなっている。

池田町長 食品衛生の基準も厳しくなっている。現在のような開催は今後厳しい。一部の者がずっと苦労してやってきた側面もある。節目となる第30回の祭を終えて、いろんな場面を通じて今後のあり方を検討したい。

大勢のスタッフに支えられている「かつお祭」

常会再編の考えは

隣同士の付き合いが大事

問 若い人は常会に入りたがらない。町が常会への入会に関わっていくことはできないか。
年がいって常会長をできない人が増えている。１４０近くある常会数を見直すなど編成を考えてみたらどうか。

下元企画課長 常会は任意の団体である。入会は各常会に任せている。町での再編は考えていないが、常会から要望があれば一緒に検討することは可能である。

問 災害が起きた時など、近所とのコミュニケーションをとっていたら助かる命もあると思う。町長の常会の役割に対する考えと常会に望むことはあるか。

池田町長 常会は共助である。隣同士の顔が分かる付き合いが非常に重要だと思う。

４月13日に町民交流会館で行われた久礼地区の常会長（地区長）会

七面鳥を全国に

増産体制の構築で

問 七面鳥を中土佐ブランドにし、全国的に売り出せないか大きな夢を抱いている。生産組合の現状と課題は。

西田農林課長 現在3戸4人の組合員で構成している。うち2戸で約600羽を飼育生産している。一千羽を目標に取り組んでいる。課題は加工処理で羽抜き作業は手作業で行っている。スタッフの確保がぎりぎりの状態だ。

問 次年度に向けての目標は。

西田農林課長 加工処理体制の強化だ。現在取り組んでいる高知県版「ハサップ」の第2ステージの取得や販促活動をバックアップし、増産に対応できる体制を構築したい。

大野見で飼育されている七面鳥

児童虐待防止対策は

リスク高い子どもらを支援

問 本町の児童虐待の現状は。

山本健康福祉課長 平成21年3月に要保護児童対策地域協議会を設立した。町内在住のゼロ歳から18歳までの子どもと保護者、特定妊婦を対象に子育て支援や虐待防止を行っている。

町に虐待通告があった場合、健康福祉課が受理会議を行う。そして、児童の安全確認、虐待情報の精査、社会的調査を行い、リスクを決定する。緊急対応が必要な時は警察署や県の中央児童相談所へ通告・送致し一時保護を求める。

本町の現状は、比較的リスクの高い傾向にあると思われる就学前児童、特定妊婦に対し支援している。保健・福祉・教育等の専門性、広範囲の取り組みが課題だ。

再犯防止計画は

問 地方再犯防止推進計画を定める努力義務があるが本町の現状は。

多田町民環境課長 現在、策定が進められている高知県の再犯防止推進計画を参考に、平成31年度に保護司や関係団体とも協議し策定に向けて検討したい。

池田町長 犯罪を犯しても、社会復帰できる社会の構築は非常に重要だ。

保護司に役場職員を

問 保護司は高齢化で定年になる方がいる。役場職員を保護司にできないか。

池田町長 役場職員が保護司をするのは業務外で、お願いをすることはあっても強制できない。

町議会議員にも配付されている児童虐待防止運動のシンボルであるオレンジリボンのバッジ（下）

水道民営化の影響は

料金・安全性これまで同様

問 水道改正法が国会で採決された。改正の目的は。すぐ民営化されるか。料金は上がるか。安全性は保たれるか。災害時の対応は。

多田町民環境課長 改正の目的は水道の基盤強化を図り、将来にわたり安全な水を安定的に供給するため国や自治体の関与を強めたものだ。

本町では現在のところ民営化は検討していない。水道料は、厚生労働大臣が許可する仕組みのため民営化で直接料金アップにつながることはない。民営化によって安全生にも問題はない。災害時の対応もこれまでと同様だ。

水道料の滞納は

問 簡易水道会計で貸倒引当金641万2千円が計上されている。滞納は合併以前のものが多く含まれていると聞くが、その割合は。回収見込みと時効は。

多田町民環境課長 合併前の滞納が70パーセント程度になっている。水道料の時効は2年間だ。時効後、債務者から申し出があれば消滅することになる。合併後の徴収率は99・8パーセントになっている。おおむね滞納が5年を超えている債権は、行方がわからないもの、債務者を特定できないものが多数あり、回収が困難な状況にある。

水道使用量を確認する検針員

問 不納欠損処分の手続きとして権利の放棄が議決された際には、それを根拠として手続きを行うことも可能とされている。回収見込みのない滞納金に対して不納欠損処分を行う見込みは。

多田町民環境課長 昨年度の決算審査意見で、法令に基づき適切に債権処理を行うことを指摘された。長期滞納状態の回収困難な債権は不納欠損処分をしていきたい。

> **不納欠損処分**
> 債務者が行方不明になるなど、何らかの理由で徴収が行えず、今後も徴収の見込みがたたないため、地方自治体が徴収をあきらめること。

本町への移住者は

75組120人

問 子育て世代の移住者は。今後の人口減少問題への取り組みは。

下元企画課長 平成27年度から75組、120人が移住している。このうち子育て世代は15組50人となっている。

現在、中間管理住宅の整備、定住団地宅地造成、子育て応援事業などを実施している。

人口減少は非常に厳しいととらえている。検証しながら作業していく。

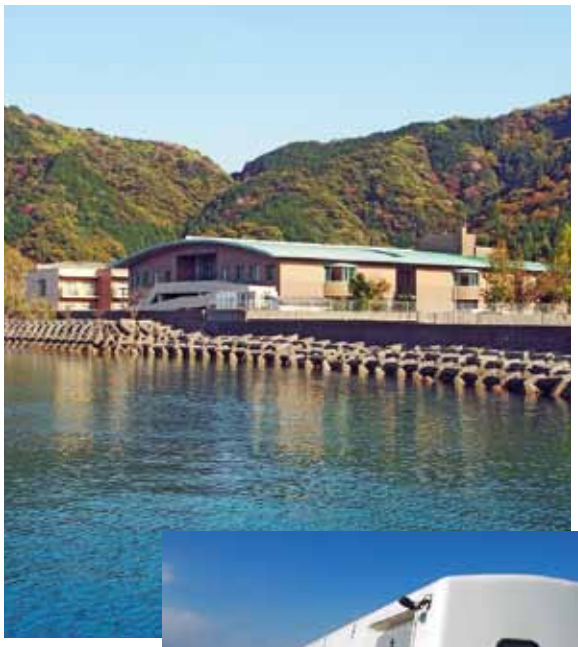
大阪で開かれた「高知暮らしフェア」での移住相談

防災対策の進ちょくは

避難路は9割完成だが

問 防災対策全体の進ちょく状況はどの程度と認識しているか。

池田町長 津波対策での避難路は9割が完成しているが、上ノ加江地区の特別養護老人ホームでは、高台移転も含めた課題が残っている。



海に面した上ノ加江の老人福祉施設（上）と備え付けられている津波救命艇（下）

問 新年度予算では、何を重点施策としているか。

平田総務課長 家屋の耐震化、小矢井賀地区の避難所機能を併設した資機材倉庫の整備、次期防災情報提供システムの導入だ。そして、引き続き避難所運営マニュアルの作成を重点施策として考えている。

今後は、ハード面とソフト両面の対応を地域・自主防災組織とも連携し取り組んで行く。

児童虐待で学校へは

不当要求に屈しないよう

問 今、社会問題となっている児童虐待は、本町でも今後起こる懸念がある。親権問題と併せ、学校に対する指導はどのように考えているか。

岡村教育長 常識を逸脱するような、どう喝・威圧・言動を関係職員が保護者から受けることがあった場合、不当な要求に屈することがないよう、関係機関が連携して取り組んで行く。

池田町長 民法で定められた親権・懲戒権の問題が提起されている。子どものしつけなど、深堀しながら対応していく。

本町でも様々な事案があると思うが、今一度考えていくことは重要である。

骨髄提供者の助成は

一家だんらんの家族

問 骨髄バンクの助成を新年度予算でどのようにしたか。

山本健康福祉課長 県の医療政策課と連携し、平成31年4月から助成制度が施行できるよう補助金の交付要綱等を整えている。具体的には、通院日数の7日間を上限として、1人当たり最高14万円の補助金を交付することとなる。補助金は県の2分の1の補助を活用する。

問 町として骨髄バンクを、情報発信・広報により、どのように周知をしていくか。また、連携する関係団体・ボランティア団体と連携してどう取り組むか。

山本健康福祉課長 骨髄バンク事業は非常に個人情報が守られている事業だ。町として補助金制度の広報を進めていくのが一番大きな役目だと考えている。県の赤十字血液センター、ライオンズクラブとも協議し、献血の機会を捉え、一層の啓発を行っていく。

その他の質問

▼ゴールデンウィーク10連休の対応は

天皇制度を教育で

学習指導要領に基づき

問 御代替わりで新元号が施行される。元号は、大化の改新以来続く時代の意義を実感させる言葉だ。日本だけのもので、世界遺産として称賛されるべきものだ。

126代続く天皇は、神武天皇即位以来2679年という世界最古の歴史を持つ。天皇は、エンペラーとして外交儀礼の序列で世界の最高位にある。

天皇と共にある日本の建国の精神は「八紘を掩いて宇とせんことまた可からずや」。今の言葉で言うと「家族のように仲よくしよう」で、世界平和を願うものだ。素晴らしいと思う。教育としても教えるべきでは。

池田町長 一つの団体を家族に見立てて仲良くやっていこうというものだ。相互扶助の下、お互い助け合って努力しながら国を造っていくという精神はすばらしい。

天皇はエンペラーで世界に日本しかない存在だ。一致団結して国民の幸せのため、憲法のもと国づくり・自治体づくりが求められる。

岡村教育長 教育基本法に教育の目的が書かれている。それが達成できるように教育が行わなければならないと認識している。

学習指導要領に基づき指導が行われるよう努める。

平成から令和へ

中山間地域の振興を

協働のまちづくりが必要

問 大野見で北地区振興会と行った議員出張懇談会（P3参照）で、中山間の振興策を議論した。田舎の衰退は、少子高齢過疎化の中での日本全体の問題だ。

それぞれの地域が知恵やアイデアで生き延びる戦略に取り組んでいる。

いろいろ課題があるが、批判非難してもどうしようもない。今の現実の中でやるしかない。

「天は自ら助くる者を助く」。やる気への支援は。

池田町長 地域を取り巻く環境は急激な過疎化の進展だ。自助・共助・公助という協働のまちづくりが必要だ。

合併してまちづくりを進めようと努力している皆さんに、しっかり寄り添いながら共に取り組みたい。

捕獲された猫と町役場横の施設内での手術

猫対策は

問 地域猫の取り組みを聞く。

多田町民環境課長 地域猫活動のボランティア団体に補助金を出して去勢避妊を推進する。地域座談会で、住民同士の対立を和らげるようにしていきたい。

活動を広げていくには、ボランティアの増員が必要だ。

地域猫 飼い主がいないものの、地域住民の認知と合意のうえで共同管理されている猫。

その他の質問

- 公務員の倫理感・教育の劣化
- 自主防災と地域コミュニティー
- イベントへの出店と道路使用許可
- 教員の勤務体制支援

委員会活動報告

3月定例会の初日（3月5日）、総務・産業建設・教育民生の各常任委員長から議会閉会中の委員会の活動報告がありました。

総務常任委員会

洲本市千草竹原を視察

住民自治・集落活動を調査

淡路島にある洲本市千草竹原地区で、住民自治・集落活動の研修を行なった。

同地区は3世帯7人の集落で、ともに退職した二人が地域活動に取り組んでいる。

原木シイタケのもぎ取りやバーベキュー体験などができる観光農園、大学や企業と連携して小水力発電による地域活性化検証実験に取り組んでいる。また、千草竹原地区の林道を巡る「淡路島千草竹原ロングトレイル」を早稲田大学と開発中である。このように大学や研究者、国・県を巻き込んで地域再生活動に取り組んでいる。

会長は「ないものねだりは無駄。あるものを見つけ活用すること」と述べた。今回の視察で学び、感じたことを、町の課題解決につなげるよう努めていきたい。

（P28「つぶやき」参照）

ロングトレイル
「トレイル」とは、森林や原野、里山などにある「歩くための道」のこと。「ロングトレイル」は、つながった一本の長いトレイル。

洲本市千草竹原地区の小水力発電施設の説明を受ける総務常任委員（２月６日）

産業建設常任委員会

七面鳥販路拡大に課題

食鳥処理施設・源流の里を調査

2月8日、七面鳥生産の現状と課題、そして、四万十源流の里の改修状況の現地調査を行った。

七面鳥は現在、飼育羽数558羽、出荷取引件数は24件となっている。年間売上高517万5千円で目標値の7～8割程度だ。食鳥（七面鳥）処理施設での加工は1日あたり20～30羽程度だ。将来、飼育羽数は一千羽を目標としている。生産体制の見直しや販路拡大などに課題があるとの意見があった。

四万十源流の里の平成30年度の利用者は、レストラン3321人、宴会57件、入浴353人で合計7065人だ。このうち外国人が293人となっている。

支配人は「今後も、創意工夫により集客に努める」ということだった。改修工事は、3月1日完了予定だった。

食鳥処理施設（上）と四万十源流の里（下）の現地調査を行う産業建設常任委員（２月８日）

教育民生常任委員会

学校などとの連携を

図書館等を調査

津野町立図書館「かわうそ館」で説明を受ける教育民生委員（左上下）と日高村立図書館「ほしのおか」の館内と外観(右上下)（２月19日）

２月４日、スクールバスと水道事業の調査を行った。

スクールバスは現在４台で、部活動の練習試合や学校行事、送迎などに使用されている。

水道事業は、水道法改正の概略説明を受けた。主な内容は、事業の広域連携化、施設の資産管理などだった。

２月19日、図書館の先進事例研究のため、日高村と津野町を視察した。

日高村は住民アンケートや要望書などにより、「人が育つ図書館」の基本理念のもとに２億８千万円で新築し、学校などと連携しながら運営している。

津野町は保育所を改修して図書館とし、２階には学習室、１階には飲み物コーナーがあり歓談しながら読書が楽しめるようになっている。

水産加工場使用者に企画・ど久礼もん企業組合

池田町長の行政報告

●天皇御在位30年

日本の国と国民の象徴として、国内外に大きな足跡を残された天皇皇后両陛下に心から感謝の念をささげたい。

●平成31年度予算編成

本町の平成31年度一般会計当初予算は、歳入歳出総額が85億6685万円となった。過去最大の予算編成となっている。

●公共施設移転等事業

新庁舎建設工事は、現在山留工事に取り掛かっている。消防庁舎は、当初見込み工事費６億５千万円が諸物価等の高騰により、10億5400万円となる見込みだ。

●ＳＥＡプロジェクト事業

「道の駅なかとさ」は、１月下旬にレジ通過者が50万人を突破した。

●水産加工場の使用事業者の決定

「企画・ど久礼もん企業組合」を選定した。スラリーアイスを活用し、漁業振興に活路を見出すことを期待する。

●防災行政

矢井賀の避難路追加工事は年度内に完了の予定だ。住宅耐震化など地震揺れ対策は２月末までに42件、ブロック塀耐震化14件、家具転倒防止31件を実施した。

●トライアスロン大会の中止

昨年11月の第７回をもって、「今後継続が難しい」と実行委員会が判断し、平成31年度から中止することとなった。

●カツオ文化の日本遺産登録を申請

１月21日に「鰹の国・土佐～黒潮の恵みと共生する文化～」と題して、中土佐町を含む６市町で文化庁に申請した。

３月定例会での池田町長

●消費税引き上げに伴う商品券事業

プレミアム付き商品券の発行・販売を今年の10月から来年の３月まで行う。

反対しました。

○・・賛成　●・・反対　／・・議長

審議した議案等 ＼ 議員名	黒原昭一	山本建生	山下世仁子	岡伊三男	本井康介	松下裕之	下元道夫	佐竹敏彦	窪田和教	高橋雄造	福永守恭	中城重則	可否
水道布設工事監督者の配置基準・資格基準・水道技術管理者資格基準条例改正 ※関連法の改正や技術士試験における選択科目の見直しに対応するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	承認
「鰹乃國の湯宿・黒潮本陣」・「黒潮体験創造の館」・「コテージ」設置管理条例改正 ※平成31年度以降に指定管理者から町へ収められる納付金の額を定めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
小中学校設置条例等改正 ※Ｐ10参照（出席議員の２／３以上の賛成が必要な特別多数議決）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
大野見青年の家設置管理条例 ※高幡広域市町村圏事務組合から町への移管に伴い、設置や管理方法を定めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
町道押谷線道路災害復旧工事請負契約締結 ※有限会社　田中建設と１億2,096万円で契約するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成30年度一般会計補正予算（第８号） ※国保会計への繰出金など5003万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第３号） ※保険給付費や諸支出金など4902万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成31年度一般会計予算 ※Ｐ６参照	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成31年度国民健康保険特別会計予算 ※歳入歳出予算をそれぞれ11億1788万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成31年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算 ※歳入歳出予算をそれぞれ236万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成31年度農業集落排水事業特別会計予算 ※歳入歳出予算をそれぞれ3836万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成31年度介護保険特別会計予算 ※歳入歳出予算をそれぞれ13億9531万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成31年度後期高齢者医療特別会計予算 ※歳入歳出予算をそれぞれ１億2724万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成31年度簡易水道事業会計予算 ※収益的収支の収益を１億4669万円、費用を１億3855万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
慎重な行財政運営を求める決議 ※Ｐ８参照	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	／	可決

一般質問など議会の様子をパソコン・スマホで

スマートフォンやパソコンで本会議の様子が視聴できます。生中継だけでなく平成28年以降の過去の映像もご覧いただけます。写真は３月定例会の映像です。

※データ通信料の契約が定額制（使い放題）でない場合は、高額請求される場合がありますのでご注意ください。

私は、賛成

≪第３回定例会の主な議案と議員の賛否≫

審議した議案等 ＼ 議員名	黒原昭一	山本建生	山下世仁子	岡伊三男	本井康介	松下裕之	下元道夫	佐竹敏彦	窪田和教	高橋雄造	福永守恭	中城重則	可否
専決処分の承認（平成30年度一般会計補正予算（第７号）） ※町道池ノ谷線の早期復旧のため、歳入歳出それぞれ4,500万円を増額したもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		承認
指定管理者の指定（黒潮本陣） ※株式会社中土佐町地域振興公社を指定管理者とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
指定管理者の指定（天満宮前キャンプ場） ※天満宮前の川辺を愛する会を指定管理者とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
指定管理者の指定（矢井賀高齢者コミュニティーセンター） ※矢井賀地区会を指定管理者とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
町道の路線の認定・一部廃止・廃止 ※認定：小矢井賀２号線、小草４号線　一部廃止：小草３号線、島の川線、下ル川線、桑ノ又線、伊勢川線、高野山線、楠ノ川３号線　廃止：久原線、程落線、新道山線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
新「中土佐町」建設計画の変更 ※平成17年度に作成し、平成26年度に改定した計画を変更するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
国民健康保険税条例改正 ※上位法令の改正に対応するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
手数料条例改正 ※森林法の改正に伴い「森林施行計画」を「森林経営計画」に改め、林地台帳の写しの交付手数料を定めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
町職員の分限の手続・効果等条例改正 ※勤務能率の低下や適格性を欠く場合に降任処分ができるように改めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
町職員の降給条例 ※分限処分を検討する際に当該職員の意に反した降給について定めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
町職員の勤務時間・休暇等条例改正 ※働き方改革関連法の施行に対応するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
嘱託職員任用・勤務条件等条例改正 ※報酬額を日額200円引き上げ、防災対策主事の資格に消防防災経験者などの要件を加え、新たに地域林政アドバイザーの職名等を加えるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
非常勤特別職職員の報酬・費用弁償条例改正 ※美術館長の勤務日数を週３日程度から週４日とすることに伴い、月額報酬を改めるもの	●	●	○	●	●	○	○	○	●	○	●		否決
災害弔慰金の支給等条例改正 ※上位法令の改正に対応するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決

議員がどこへでも出張する
議員出張懇談会

10人程度以上の参加が見込める団体やグループで、議員との懇談の希望があれば、町内どこへでも出張いたします。

ご希望がある場合は、議会事務局（☎52-2410）までお問い合わせください。

～大野見庁舎が心配～

議会からは全議員に来ていただき、北地区からは30人以上が参加し、住民と話し合いを持つことができました。

北地区がいろいろと要望しましたが、一つでも二つでも前に進むようにお願いします。

高樋の沈下橋のトイレの設置をお願いして10年がたちましたが、おかげで明るい見通しがつきました。

一番心配していることは、大野見の庁舎機能のことです。バスは久礼まで通っていますが、なかなか久礼までは行けません。庁舎の機能をできるだけ現状のまま残してほしいです。

（P３参照）

大野見北地区振興会
会長の高橋米美さん

A 私たちは、こんなことをしています。

≪各議員の出欠状況（平成31年１月１日～平成31年３月31日≫

日付・会議等 ＼ 議員名		黒原昭一	山本建生	山下世仁子	岡伊三男	本井康介	松下裕之	下元道夫	佐竹敏彦	窪田和教	高橋雄造	福永守恭	中城重則
１月４日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	／	○	／	／	／	／	○	／	○	○	／	／
１月10日 11日	市町村議会議員研修（滋賀県大津市）	／	／	／	／	／	／	○	／	／	○	／	／
１月15日	議員出張懇談会（中土佐町社会福祉協議会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	／	○	／	／	／	／	○	／	○	○	／	／
１月22日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	／	○	／	／	／	／	○	／	○	○	／	／
１月25日	新議員研修会（高知県自治会館）	／	○	／	／	／	／	／	／	○	○	／	／
２月４日	教育民生常任委員会（中土佐庁舎）	／	○	○	／	○	／	／	○	／	／	○	／
２月６日	総務常任委員会（兵庫県洲本市）	○	／	○	／	／	○	／	／	●	／	／	○
２月７日	全員協議会（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
２月８日	産業建設常任委員会（大野見庁舎・町内）	／	／	／	○	○	／	○	○	／	○	／	／
２月13日 14日	地方議員研究会（大阪府大阪市）	○	／	／	○	／	／	／	／	／	／	○	／
２月16日	第８回議長杯パークゴルフ大会 （小草ふれあい公園パークゴルフ場）	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
２月18日	議員出張懇談会（旧大野見北小学校ホール）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
２月19日	教育民生常任委員会（日高村・津野町）	／	○	○	／	○	／	／	○	／	／	○	／
２月27日	議会運営委員会（中土佐庁舎）	△	／	／	／	○	／	○	○	／	／	／	△
３月５日	３月定例会＜１日目＞（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	／	○	／	／	／	／	○	／	○	○	／	／
	議会運営委員会（中土佐庁舎）	○	／	／	／	○	／	○	○	／	／	／	○
３月６日	全員協議会＜予算精査＞（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会（中土佐庁舎）	／	○	○	／	○	／	／	○	／	／	○	／
３月７日	全員協議会＜予算精査＞（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
３月11日	３月定例会＜２日目＞（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
３月12日	３月定例会＜３日目＞（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務常任委員会（中土佐庁舎）	○	／	○	／	／	○	／	／	○	／	／	○
	産業建設常任委員会（中土佐庁舎）	／	／	／	○	○	／	○	○	／	○	／	／
３月14日	３月定例会＜４日目＞（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
３月28日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	／	△	／	／	／	／	○	／	○	○	／	／

○・・・出席　●・・・欠席　△・・・一部欠席　／・・・所属委員等でない

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。

Q 議員は何をしゆうが？

≪議長の主な活動状況（平成31年１月１日～平成31年３月31日）≫

●１月

13日　消防出初め式・慰労会（久礼八幡宮・町内）
16日　学校法人日本体育大学とのスポーツ協定懇親会【議長・教育民生常任委員長】（黒潮本陣）

●２月

２日　シンポジウム「新幹線で四国を変えよう！」（高松市／サンポートホール）
８日　香川県綾川町議会視察受入（道の駅なかとさ）
12日　高知県町村議会議長会理事会（高知市／高知県自治会館）
19日　四万十町議会正副議長来庁（中土佐庁舎）
高幡広域市町村圏事務組合との打合せ（中土佐庁舎）
高幡消防組合との打合せ（中土佐庁舎）
21日　第38回高幡町村議会議長会臨時総会（高知市／高知県自治会館）
高知県町村議会議長会第70回定期総会（高知市／高知県自治会館）
高知県町村長・町村議会議長大会・意見交換会（高知市／ザクラウンパレス新阪急高知）
25日　天皇陛下御在位30年記念式典【正副議長】（高知市／県民文化ホール）
26日　津野山養護老人ホーム組合議会定例会（須崎市／道の駅かわうその里）
高陵特別養護老人ホーム組合議会定例会（須崎市／道の駅かわうその里）
高幡障害者支援施設組合議会定例会（須崎市／道の駅かわうその里）
高幡消防組合議会定例会（須崎市／道の駅かわうその里）
高幡広域市町村圏事務組合議会定例会（須崎市／道の駅かわうその里）

●３月

９日　高知県自衛隊入隊・入校激励会（高知市／三翠園）
13日　久礼中学校卒業式（久礼中学校）
大野見中学校卒業式【(代理）副議長】（大野見中学校）
上ノ加江中学校卒業式【(代理）教育民生常任委員長】（上ノ加江中学校）
20日　久礼小学校卒業式（久礼小学校）
上ノ加江小学校卒業式【(代理）教育民生常任委員長】（上ノ加江小学校）
高幡西部特別養護老人ホーム組合議会【議長・議選組合議員】（四万十町／仁井田のりん家）
22日　大野見小学校卒業式【(代理）副議長】（大野見小学校）
23日　久礼保育所卒園式（久礼保育所）
大野見保育所卒園式【(代理）副議長】（大野見保育所）
上ノ加江保育所卒園式【(代理）教育民生常任委員長】（上ノ加江保育所）
24日　一般国道56号大方改良開通式・祝賀会（黒潮町）
28日　高幡東部清掃組合議会【議長・議選組合議員】（高幡東部清掃組合）

３月定例会での予算の精査
（３月６日、７日）

町村長・議長大会で議題の提案理由説明をする中城議長（２月21日）

香川県綾川町議会の皆さんが「道の駅」を視察

２月８日、香川県綾川町議会の政策研究グループの皆さんが、本町を訪れ「道の駅なかとさ」を視察し、水産商工課の担当者と意見交換を行いました。

綾川町は、香川県のほぼ中央に位置し、人口約25,000人の町です。

町村議会表彰
町村議会広報全国コンクール表紙写真賞

中土佐町議会 全国表彰のダブル受賞

高知県自治会館で開催された高知県議長会定期総会での伝達式で表彰状を受け取る中城議長（２月21日）

中土佐町議会が、２月６日に開催された全国町村議会第70回定期総会で「町村議会表彰」と「第33回町村議会広報全国コンクール表紙写真賞（銅賞）」をダブル受賞しました。

「町村議会表彰」は、住民に開かれた議会、監視機能を十分に発揮しているなどの理由により表彰されたものです。この表彰は、全国926町村議会中、26町村が受賞しました。

「第33回町村議会広報全国コンクール表紙写真賞　銅賞」は、平成29年11月に発行されたNO47の表紙が、応募総数279紙の中から選ばれたものです。コンクールには、表紙写真賞の金・銀・銅賞（各１紙）のほかにも、最優秀賞１紙、優秀賞３紙、優良賞６紙、奨励賞８紙の表彰があります。

表紙写真賞を受賞したNo47の表紙

会議録をご覧いただけます

インターネット中継映像や音声は公式記録ではありません。また「議会だより」は概要のみを掲載しています。公式記録は会議録をご覧ください。会議録は議会事務局、または中土佐町ホームページから議会のページに進むとご覧いただけます。

議会は、どなたでも傍聴できます。

６月定例会日程（予定）

６月３日（月）	行政報告 委員長報告 議案の提案理由説明ほか
６月６日（木）	一般質問
６月７日（金）	一般質問
６月11日（火）	議案等の採決ほか

議会に対するご意見などを募集しています

ご意見やご感想など500字以内で、郵送でご投稿ください。

お問い合わせなどはこちらへ
中土佐町議会事務局　〒789-1301 中土佐町久礼6602-2
TEL52-2410　FAX52-4850　E-mail gikaijimu@town.nakatosa.lg.jp

今号では、窪田議員が平成30年6月定例会で質問した「就学援助費」の質問を追跡しました。

【平成30年6月定例会】

問 就学援助は、経済的困難な保護者に給食費や学用品費などを助成するものだ。

平成29年の文科省通知で、入学準備費が小学校で4万600円に、中学校が4万7400円に増額された。また、入学前の3月支給も可能だとした。この通知を受け、須崎市や日高村などでは入学準備費を引き上げた。また、全国で4割の自治体が入学前の3月に支給している。入学準備費の支給時期と金額を問う。

今橋教育次長 小学生で1万9900円。中学生で2万2900円だ。支給は6月末からだ。

問 保護者が入学準備にかける金額と現在の援助額には隔たりがある。町長の政治判断も必要だ。

池田町長 全国の市町村が就学援助金を引き上げる措置をしているようなので平成31年度に向けて検討していく。

平成最後の久礼小学校入学式

新入学児童学用品費が引上げ

	給　付　額	給付時期
小学校	19,900円⇒40,600円	6月末⇒3月末
中学校	22,900円⇒47,400円	

その後の対応

平成31年度から給付額・時期を見直した。

議員定数を減らせ！ 質問回数が少ない議員がいる！

声 平成29年度に実施した議会広報アンケートの中から、町民の皆さまの「声」をご紹介します。

★議員数を減らした方がよい。

定数削減によって、経費削減のほかにも、地域代表であった議員が、より広い視点で町内全体のことを考え議論することで、それが政策に生かされるという考えもあります。

しかし、議会は、多様な意見を吸収し、さまざまな視点から議論する場であることから、自治体の面積や人口などに応じ、相当の人数が必要です。

「議員定数を減らせ」という「声」は、私どもの耳にも様々な形で入っています。議員のなり手不足などの問題もあり、議員定数の議論をしなければならない時期になったとも考えています。

この議論は、定数を「減らす」「減らさない」にかかわらず、町民の皆さまの「声」を、どう政策に反映させるかに配慮しながら進めなければならないと考えています。

★質問回数が極端に少ない議員がいるが、町民の代表だからもっと勉強して頑張ってほしい。

議員にとって一般質問は、執行機関に現行の政策の変更や是正、また新規の政策を採用させるなどのために大変重要なものです。

本町議会では、毎回おおむね7人以上の議員が質問をしており、毎回質問台に立つ議員もいます。他の議員も毎回ではないものの質問は行っており、極端に質問回数が少ない議員（議長は除く）はいないと考えています。

ただ、ご指摘のとおり、議員は日々勉強が必要で、町民皆さんの代表として、恥ずかしくない活動が求められています。

中城重則議長

（今号の表紙）

今年度の「議会だより」の表紙の写真は「地域で頑張る移住者たち」を取り上げます。

初回は、大正町市場で「串焼き」を営む青年です。

百年の歴史と鮮度・風情で人気の「大正町市場」の一角で、元気な声が聞こえます。

香川県高松市出身の工藤圭司さん38歳です。平成28年1月に地域おこし協力隊として中土佐町に赴任しました。

協力隊の任期は3年ですが、1年をまたずして修行のため大正町市場の田中鮮魚店の門をたたきます。

温めてきたカツオの「ハランボ」の串焼き事業は平成30年7月から始めました。店名の「串焼きポン吉」は山本鮮魚店の大将「山ちゃん」が付けてくれたとのことです。

商品は、カツオの「ハランボ」のほか、イカの「ゲソ」、四万十町の「米豚」、椿原町の「イノシシ」など海と山の幸です。

「なんで中土佐町に来たが？来て4年たって町の印象は？」と聞くと「カツオを食べてこの町が好きになった」「人との出会いもあった」「この町の人はおせっかいが過ぎるくらい親切で優しい」「おばちゃんたちも家族みたいに世話してくれる」、そして「商売は初めての経験だが当分は串焼きで頑張ってみたい」と思いを語ってくれました。

田中鮮魚店の田中隆博さんは、「さすが香川県人やね。あの『ハランボ』を細く切って串に刺すということは高知県人では考えられん。頑張りゆうき見守っていきたい」とエールを送っています。

工藤圭司さんから

今の備品は全部借金で揃えた。新たに商売をするにあたって備品等に支援があればいいと思う。

「おいしかったからまた来たよ。」というお客さんの声が一番うれしい。

食材の準備をする工藤さん

地元の“おばちゃん”は親代わり

多くのお客さんが買い求める工藤さんの串焼き

今まで中土佐町では串焼きにする発想がなかった「ハランボ」

つぶやき

住民パワーで発信

定年を機に地域再生を目指し奮闘する二人の男性。

3世帯7人の限界集落にあって、草刈り、道路整備等ボランティアで、自らが動き地域に自治体に活力を与え、世論を巻きこみ支援を受けるまでに発展。

「ないもの探しはやめよう」「ある物を売ろう」花を育て自然豊かな森や川、歴史を発掘し、（自然道を長距離、長時間、アウトドア形態で歩く）ロングトレイルを計画。それらを目当てに大勢の観光客が来る所となる。

今回の視察研修地洲本市千草竹原地区の、お二人の活動には沢山の知恵と工夫を発見したように思う。

二人は地域の問題点を一つずつクリアし、笑って暮らせる地域作りへの誇りが、心の豊かさに繋がっているように感じられました。住民パワーも捨てたもんじゃない。

かつては林業で財を成した竹原地区。その面影は各家並に今もなお、栄華を放っている。理想郷に向け発信つづけている。

中土佐町議会議員　山下　世仁子

（P20総務委員長報告参照）

中土佐町議会広報常任委員会

委員長　下元　道夫
副委員長　窪田　和教
委員　山本　建生
委員　高橋　雄造

発行／高知県中土佐町議会　発行人／議長　中城　重則　編集／議会広報常任委員会
〒789-1301　高知県高岡郡中土佐町久礼6602-2
電話（0889）52-2410（直通）　FAX（0889）52-4850（直通）